

一名護市の教育分野における課題とToBe像

As-Is

内部環境	Strengths (強み)	<ul style="list-style-type: none">● 市内には名桜大学・沖縄高専、近隣にはOIST等の高等教育機関が立地している● 世界文化遺産に認定された「やんばるの森」等、自然豊かな環境を有している● 沖縄県北部地域の拠点都市として就労・就学の中心地として機能している
	Weaknesses (弱み)	<ul style="list-style-type: none">● 離婚率が全国平均と比べ高く、母子世帯割合も増加傾向にある● 家庭児童相談室における対応件数が年々増加傾向にある● 若者が就学・就職を機に市外に流出している● 学校現場で放課後に児童・生徒を見守る人材確保が難しい● 不審者情報が増加傾向にあり、登下校の安全確保が問題化している
外部環境	Opportunities (機会)	<ul style="list-style-type: none">● GIGAスクール構想やWithコロナ下でのオンライン授業実施により、ICTを活用した教育環境が整備され一般化しつつある● 変化の激しい時代背景を踏まえ、国により新たな学び直しの機会としてのリスキリングに対する支援が充実しつつある● 教員の負担軽減化に向けて「働き方改革」が議論され始めている
	Threats (脅威)	<ul style="list-style-type: none">● AIやIoT等、新たな分野に対応できる教員が不足している● 全国的に臨時的任用教員等の確保が出来ず、想定配置数に届かず欠員が生じている

ToBe

コンセプト

夢・希望を実現できる教育機会とチャレンジの場があり、
いつでも・いつまでも自分の可能性に挑戦できる“まち”（仮）

名護市の
関連計画で
整理された内容

- ① 学びに向かいつながりしなやかに未来を拓く
- ② 子どもの健やかな育ちと子育てを皆で支える共生のまち

※①第3次名護市教育振興基本計画/②あけみお・すくすくプラン（第2期名護市子ども・子育て支援事業計画）

目指す状態

名護市全体



- ✓ 学校・家庭・地域が連携し教育支援が行われている状態
- ✓ 生涯を通じた多様な学びを支える環境が提供できている状態
- ✓ デジタルを活用した教育・学習機会が提供された状態

市民



- ✓ 名護市内にいても自分の夢・希望にチャレンジできる状態
- ✓ 将来の職業キャリアを想定した学習ができている状態
- ✓ 性別、障がいの有無等によらず、だれでも生涯学習としての学びの場を利用できる状態

教育機関・教員



- ✓ 通常の学校教育だけでなく、就労のためのキャリア教育、リスキリング等の幅広い教育メニューが提供できている状態
- ✓ ICTを活用した教育が提供できている状態
- ✓ 教員の負担が軽減化され働きやすい状態